

インフラ整備70年 講演会(第36回) ～戦後の代表的な100プロジェクト～

「八郎潟干拓とモデル農村の建設」

<講演プログラム>

はじめに

1. 八郎潟干拓事業着工までの経緯
2. 国営八郎潟干拓事業
3. 八郎潟新農村建設事業
4. 土地改良施設の維持管理と更新
5. 大潟村農業の経緯と今後の展開
6. 事業の効果と社会的影響

<講演者>

- | | |
|-------|-----------------------|
| 宮元 均 | 元東北農政局 次長 |
| 青野 俊一 | 元東北農政局八郎潟干拓事務所 河川第一係長 |
| 村田稔尚 | 元八郎潟新農村建設事業団 施設課長 |
| 今野 諭 | 大潟土地改良区 理事長 |
| 下山 昇 | 大潟土地改良区 事務局長 |

写真提供：大潟村

2022年 **12月23日** (金) 講演会：15:00～17:00 (入室開始予定：14:40～)

場所：ZOOMウェビナーによるWEB配信

定員：1,000名

*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております。

琵琶湖に次ぐ我が国第二の湖、面積22,000haの八郎潟の干拓計画は、戦後の食糧増産対策の切り札の一つとして干拓先進国オランダの協力を得て策定され、1957年に工事が始まり、1965年には堤防内の排水を終え干陸した。

その間、我が国は高度経済成長期に入り、1961年には農業生産性の引き上げと農家所得の増大を謳った農業基本法が制定された。このような時代の要請に応え、新たな干拓地での農業開発・村づくりを行うために1965年に着手した八郎潟新農村建設事業は、高生産性農業のモデルとしての役割を担うこととされ、公募による580人の入植者を迎え入れ、1976年に事業を完了した。

以来、大潟村農業は政府の生産調整政策との軋轢もあったが、わが国の大規模高生産性農業のモデルとしての役割を立派に果たしてきた。本稿では干拓と新農村建設事業の経緯を中心に、施設の維持管理と農業の推移、事業効果等について報告する。

主催：(一社) 建設コンサルタンツ協会

後援：(公社) 土木学会

インフラ整備70年講演会(第36回)

「八郎潟干拓とモデル農村の建設」

《講演者略歴》

宮元 均 元東北農政局 次長
青野 俊一 元東北農政局八郎潟干拓事務所 河川第一係長
村田 稔尚 元八郎潟新農村建設事業団 施設課長
今野 諭 大潟土地改良区 理事長
下山 昇 大潟土地改良区 事務局長

講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 無料 (どなたでも申し込みできます)
- お申し込みは、協会HP (<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点でキャンセル待ちとしての受付となります。(申込み完了通知メールの確認をお願いします)
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 定員内の申込者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- キャンセル待ちの申込者には、講演当日15時時点で空きがある場合のみZOOM入室URL(事前登録用)を送付させていただきます。なお、先着順で定員を超えた時点で入室出来ません。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いいたします。

問合せ先 E-mail : infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとしました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定>

第37回講演会 2023年1月31日(火) 15:00~17:00

テーマ：関門航路の整備と地域開発 (北九州空港・響灘・下関人工島)

講演者：藤田武彦 元運輸省第四港湾建設局企画課長/元国土交通省技術総括審議官

鈴木弘之 元国土交通省九州地方整備局長

白石哲也 元国土交通省九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所長

橋本哲治 元北九州市港湾空港局長

金山俊之 下関市政策顧問

場 所：ZOOMウェビナーによるライブ配信